

村山ひでき

市政レポート

ひとをつなぐ まちをつくる

小金井市議会「みらいのこがねい」会派ニュース

平成30年度 村山ひでき活動報告号

- 2019年新春ご挨拶～平成30年度 第4回定例会の結果報告
- 2018年を振り返って…第1回から3回までの定例会と村山ひでき一般質問
- 2019年度予算編成に対する予算要望書を提出(会派みらいのこがねい)
- 小金井イベント情報:村山ひでき市政報告会(2月11日)



2019年4月は統一地方選挙、7月に参議院選挙

—小金井市は12月に市長選挙を実施予定—



新しい年を迎えました。皆様にとって希望に満ちた年となるようご祈念申し上げます。

さて、2018年は、市制施行60周年を迎えた記念すべき年でした。また、日本経済新聞社と日経DUALの共同調査で小金井市が「共働き子育てしやすい街ランキング」の東京編で18位、全国編で27位に選出されたという明るいニュースもありました。

その一方で、庁舎・福祉会館の建設問題は一進一退を繰り返し、まさに2018年の漢字「災」のような議論が続きましたが、「災」い転じて福となす状況をつくるべく、今年も奮闘する覚悟ですので、よろしく願いいたします。

2019年1月吉日 小金井市議会議員 村山ひでき

11月29日
～12月20日

平成30年度第4回定例会:全議案が賛成多数で可決

平成30年度 一般会計補正予算(第5回)の本会議採決結果 ※1

賛否	会派略称 ※2	所属議員名
賛成 17	みらいのこがねい③	村山ひでき・鈴木成夫・岸田正義
	改革連合①	篠原ひろし
	こがねい①	沖浦あつし
	市民会議①	斎藤康夫
	市民カエル①	片山薫
	生活者ネット①	田頭祐子
	緑・つながる①	坂井えつ子
	公明党④	宮下誠・紀由紀子・小林正樹・渡辺ふき子
	自民党・信頼④	遠藤百合子・湯沢綾子・吹春やすたか・河野律子
反対 6	共産党④	水上洋志・板倉真也・森戸洋子・たゆ久貴
	情報公開①	渡辺大三
	こがおも①	白井亨

※1=全議員24名のうち議長は採決には加わりません
※2=マル数字は所属している議員数です

12月20日に第4回定例会(12月議会)が閉会となりました。

今回、特に争点となったのが保育計画策定委託料などが計上された約8億4500万円の一般会計補正予算(第5回)。村山ひできは「市立保育園2園を2022年度に民営化するという市の方針は理解するものの、策定委員会の議論は『民営化ありき』ではなく、民間、市立を問わずに小金井市における保育のあり方を幅広く検討されるべきであり、その結果を踏まえて小金井らしい保育の充実に向けた方策を定めるよう努めるべきだ」と要望しました。

他にも第3回定例会から継続審査となっていた難病福祉手当条例の改正案や、追加送付された職員給与改定関連議案も含め、全議案が賛成多数で可決されました。

村山ひできの一般質問「小金井市議会 ユーチューブ」で検索!

① 西岡市政の成果と課題(12月2日)

「市役所問題の解決」と「子育て環境日本一」を掲げた西岡市政も早3年。これまでの成果の確認と今後の課題の整理をするともに、残り任期1年で特に重点を置く施策は何か? また、それらを遂行するために必要なことを提案しました。

② 水道法改正の影響は?(12月4日)

水道事業の民営化は海外で失敗例が多く、むしろ「再公営化」が世界の潮流。水は誰もが生きていくうえで欠かせない資源であり、市場原理に委ねてはいけないもの。小金井市は「地下水及び湧水を保全する条例」など、水を大切にしている方針を持っているのだから、法改正があらうとも公営で行くという考え方を明確にすべきだと主張しました。

2月21日～3月28日

第1回定例会は会期延長2回の波乱のスタート! 一般会計予算に対する組替え動議が可決→原案可決(賛成16:反対6)



3回目!の最終日の21:46から賛成討論

村山ひできの一般質問(2月27日)

1 都市計画道路について市の方針は

1月26日に都市計画道路3・4・11号線に関する意見交換会が開催されましたが、東京都が「整備に関する意見交換会には至らなかった」と表明せざるを得ない結果となってしまいました。3月に予定されている市民説明会は、まともな意見交換会を一回でも成立させてから開催すべきであって、説明会の開催日時を市報に掲載するかどうかを材料に、小金井市は東京都と交渉することができたはずだと主張しました。

2 「名勝 小金井桜」の復活に向けて

名勝小金井桜の復活事業として小金井橋～新小金井橋までの区間で2018年3月に15本、年度中に30本を植樹予定であることを確認しました。

社会福祉員への報酬を定めた条例との齟齬が24年間以上放置されていた「社会福祉員報酬誤支給問題」をめぐり、大混乱となった第1回定例会。特に、過去最大規模440億5800万円の一般会計予算の採決は混迷を極めました。

まず、市議会最終日のはずだった3月26日に公明党が「組替え動議」を提出し議会に激震が走りました。ちなみに、「組替え動議」とは議案に対しての修正要望などを示し、可決された場合は、動議で要求された内容を市長部局が反映させることを約束することで、動議提案議員は残った原案に対し賛成することになります。組替えの内容は、①職員勤勉手当の引上げ、②ランドデザイン策定に要する経費、③庁舎建設基金への積立金、④都市計画道路の在り方に関する市民アンケート、の以上4点の支出を削除するというもので、のちに、「自民党・信頼」と「情報公開がねい」も動議提案会派となりましたが、それでも動議可決に必要な議会過半数には届かず、このままだと組替え動議も否決、当初予算原案も否決されてしまうという危機的状況となってしまいました。

村山ひできは、他会派議員からも助言や協力をいただきながら、当初予算が全否定され市民生活に悪影響を及ぼすことがないようにする方法を模索し、その結果、3月27日の深夜に行われた予算特別委員会の採決では賛成7:反対15で原案は否決されてしまったものの、最終日となった3月28日の本会議という最終議決の場で、市民の生活を守り、暫定予算にしないためには、むしろ村山ひできの所属会派が組替え動議に賛成し、上記4点のみを執行しないと市長が発言することで、原案賛成多数を取り付けることができると判断。この判断により、本会議採決では賛成16、反対6と逆転しギリギリで暫定予算の危機を回避することができました。

2月22日

食育推進議員懇談会が再始動!市議24名が参加



久しぶりの食育推進議員懇談会にて
司会進行を務める

2月22日の第1回定例会の二日目。本会議終了後、久しぶりの「小金井市食育推進議員懇談会」が小金井市役所本庁舎3階の議会応接室にて開催されました。

集まってくれたのは、なんと市議会議員の全員となる24名!全国でも珍しい議員提案による「食育推進基本条例」のある小金井市。村山ひできは平成23年5月に設立された食育推進議員懇談会の事務局長として条例の立案に奔走。約2年間の活動を経て、政党・会派の壁を越え、多くの議員が賛同し可決された食育推進基本条例は、小金井市における食育施策の展開に大きく貢献しました。

平成25年3月の条例可決から早くも5年。

村山ひできも議会に復帰し、あらためて本格的に活動することとなった食育推進議員懇談会ですが、新たな活動テーマとして、これまでの食育事業の点検、関係団体との意見交換などを通じての条例チェック、食育に関する新たな条例策定などを検討していこうと協議しました。

意見が鋭く対立することが多い小金井市議会ですが、生命活動の根源である「食」に関する施策は多くの議員が共通で考えやすいテーマです。この日を境に4回の勉強会を重ね、また、キッズ・カーニバルKOGANEI2018に食育ブースを出展するなど活発に活動しています。今後にご注目ください。

6月1日～7月3日

第2回定例会：新庁舎・福祉会館建設の基本設計関連予算は付帯決議を含めて可決するも、発注方式の見直しにより延伸へ

新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設の基本設計関連予算をめぐる、議論百出した小金井市議会の第2回定例会。注目の補正予算は、付帯決議を付けることで賛成することになった会派も含めて多数で可決したものの、新庁舎と新福祉会館の建設は遅れることが確定になってしまいました。なぜ、そうなったのか？

まず、議会日程前半での全員協議会や予算特別委員会、庁舎福祉会館建設特別委員会において、ジャノメ跡地での施設配置、竣工までのスケジュール、財源計画、市民説明会や議会合意のあり方、事業手法や発注方式などについて、議会から多数の意見が噴出しました。

議会からの意見を受けとめるにしても、ある程度の調整時間が必要であることから、予算特別委員会は、あえて総括質疑を残して採決保留とし議事日程の進行を図ることに…。

その後、あらためて予算特別委員会の質疑を再開する前に、多数の会派が市長に意見要望書を提出。これらを軸に、いかに調整するかが議会後半の最大の焦点となったのですが、特に要望が多かったのが発注方式の見直しを求める声でした。

最初に小金井市が示した発注方式は、工期短縮のメリットがある設計・施工を一括で発注する**デザインビルド(DB)方式**でしたが、議会多数は、従来通りの**分離発注方式**に変更することで、コスト高、透明性の確保に努めるべきと主張したのです。しかし、**発注方式を見直した場合は、竣工スケジュールが延伸されてしまうことは明らかであり、現在の第二庁舎(リース庁舎)の維持費も含めた年間約3億円もの賃貸借料が新たに発生する事態は避けるべきだ、というのが村山ひてきの考え**です。一方で、議会多数の理解を得ないまま進め、これからの長い工程の中で、各駅停車の議論を繰り返すことでよいのかどうか苦悩することに…。

水面下での調整が続いたあとで、再開された予算委員会では、一定の質疑があり、**市長は、発注方式をフラットに検討し直し建設スケジュールの延伸も受けとめることを表明**。最良の選択をすべく議会と行政が歩み寄ったギリギリの妥協点がこの結果でした。



6月3日、小金井市議会民進党あらため「みらいのこがねい」による市政報告会を開催

村山ひてきの一般質問(6月5日)

① 武蔵小金井北口再開発の今後

これまで武蔵小金井駅北口駅前地区のまちづくりを進めてきた再開発準備組合が解散しましたが、市は地元の方々、地権者の皆さんの意見を尊重しつつ、歩調をあわせてまちづくりを進めていくことが今後も必要だと主張し、商店街通りの路面補修や無電柱化の推進などを提案しました。

② ごみ収集の改善

①燃やすごみ・生ごみの収集の終了時間が14:30～15:20という午後の遅い時間になってしまっているため、せめて夏季だけでも早く収集できるようにならないか、②火災、風水害、震災等で家屋などが損傷して発生したガラごみの処理費用を減免できないか、③遺品整理や引っ越しなどで発生する臨時ごみの扱いや処理の方法を知らない市民が違法な不用品回収業者とトラブルになるケースを防ぐため、市が設けた条件をクリアした業者を紹介するシステムを構築しないか、等々を提案しました。

8月30日～10月5日

第3回定例会：副市長人事が否決！職員給与が2年ぶりに正常化へ



9月5日、47歳の誕生日に一般質問

初日から副市長人事をめぐる紛糾した第3回定例会。副市長人事は、初日に自民党・信頼(議長を除く4名)、公明党(4名)、共産党(4名)、情報公開こがねい(1名)の計13名が本会議を退席して定足数を割り込んだために会議不成立、流会に。翌日の採決で上記の13名が否決し不同意となりました。

残る重要議案は職員給与条例と補正予算(第3回)。9月25日の本会議において、人事院勧告に基づく職員の期末勤勉手当を他市同様に0.2ヶ月分引き上げる条例が賛成多数で可決され、2年振りに正常化されました。これまで、小金井市議会は2年連続で本条例が否決されていたため、都内で唯一、他市と比べて0.2ヶ月分の手当が低い異常な状態が続いており、今年度の小金井市役所職員の採用試験申し込みが昨年度に比較して129人も減るなどの深刻な影響が出ていました。

村山ひてきの一般質問(9月5日)

① 魅力ある公園整備のために

現在、市内には210か所の公園がありますが、半分は開発等による提供公園であり、狭くて使い勝手が悪く魅力のない公園がほとんどです。改善するため公園等整備基本方針を策定中である小金井市に進捗状況の確認をするとともに、公園利用の拡充に向けて公園内の健康器具を使った健康促進策、焚火などの禁止事項の解除の検討を提案しました。

② 「キンヒバリの里」について

はけの自然環境を守るために市民によるナショナル・トラスト運動によって土地購入が求められているキンヒバリの里。「はけの自然を大切にす会」が中心になって集めた約500万円の寄付金を小金井市が受け取ることができない状況への対応策を訴えました。

新庁舎・福祉会館建設 は基本設計へ

11月21日に開催された庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会（以下、特別委員会）は、自民党・公明党などが求めた4項目（清掃関連施設の敷地内暫定移設を行わない、新福祉会館を先行竣工とする、敷地東側の樹木を残す、新庁舎の免震構造の地下の駐車場利用する）を反映させた「『新たな施設配置案』をベースに基本設計に着手したい」という主旨の西岡市長の冒頭発言を巡って紛糾。長い調整時間の後で再開となりましたが、市民説明会で配布した説明資料が市の方針と齟齬があることも発覚し、結局は審査が終了せずに散会となりました。

あらためて第4回定例会の2日目となる11月30日に再開された特別委員会で村山ひできは「新たな施設配置案は建設コスト、広場・緑地の面積などの点で不満が残るものの、約30年にもなる長年の課題であり、最大の未解決問題である庁舎問題を解決させるためには、ここで基本設計に入ることを止めることにはならない」と発言。また、今後の市民や議会からの意見の受け止め方、市民説明会のあり方などについても確認しました。

その後、12月6日に、この間の経過を説明するための市長報告が行われ、14日の特別委員会の質疑も終えることができました。紆余曲折がありましたが、これから小金井市は複合化整備方針5項目を設計条件に基本設計者の選定に入っていくこととなります。



2019年度予算編成に対する 要望書を提出

毎年、秋になると市役所庁内では来年度の当初予算を編成する作業が本格化します。村山ひできが所属する会派みらいのこがねいも、日頃から議会で主張してきた提案や意見を予算に反映してもらうために要望書にまとめ、西岡市長に提出しました。

小金井イベント情報

村山ひでき市政報告会

日時

2019年 2月11日(祝月)

開会 14:00 < 受付 13:30 >

会場

小金井市商工会館 2階 大会議室

会費

300円
(資料代として)

議題

庁舎・福祉会館建設の現状報告
今後の市政の展望 他

日頃の活動報告を兼ねた市政報告会を開催いたします。
今後の市政の展望を説明させていただきますので、お気軽にご来場ください。



村山ひでき

【プロフィール】

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業
～衆議院議員(岩國哲人・城島正光)秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選
～(株)アイム東京に入社社員として勤務
- 2016年 復帰を決意し(株)アイムを退職
- 2017年 再び小金井市議会へ
現在、建設環境委員会の委員長を務める

【主な地域活動】

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井新能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市トライアスロン連合 事務局長
- 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はげの自然を大切にする会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員
- 小金井明るい社会づくりの会 常任理事

村山ひでき事務所

〒184-0004 小金井市本町6-13-17
サンライズ武蔵小金井702

TEL 042-386-5543

FAX 042-386-5560

携帯 090-3428-2715

Eメール hideki@murayama.tv

WEBサイト <http://www.murayama.tv>

Twitter @Murayama_Hideki

Facebook <https://www.facebook.com/hideki.murayama.52>